

時給 1,000 円以上の実現を

2008年度は改正最低賃金法のもと「賃金と生活保護の整合性」を軸とした地域最低賃金の改定審議が行われました。働く者の最低限度の生計費を保障する金額の水準はいくらとなるのか大いに期待されましたが、中央最低賃金の目安は労働者の期待を裏切る低い金額でしかありませんでした。ワーキングプアの解消には程遠く地域間格差がますます大きく広がりました。

2009年の最賃闘争では、「1,000円以上」実現に向けた最賃の大幅引き上げと、地域間格差をなくし、全国一律制度への制度改定に道筋をつけていくことを目標に運動を強化していきましょう。そのためには私たちのなかまが労働者側審議委員として今の暮らしの実態を伝えることが大きな意味を持ちます。

**最賃委員獲得へ本腰のとりくみ**

2008年11月13日、パート労働者の時給に大きな影響力をもつ地域別最低賃金の大幅引き上げを求める交流集会を開催しました。最賃審議会委員に非正規で働く代表を送り込むとりくみ強化を確認しました。パート労働者の声を伝えるためには最賃審議会の改革が必要です。どこか一つでも風穴を開けたいという思いです。生協労連では宮城・埼玉・神奈川を重点地域として設定しとりくみの支援をしていきます。今年も30人を超えるなかまが審議委員に立候補します。

2月12日には生協労連春闘決起集会を開催し、最賃1,000円以上に向けた運動強化も確認しました。最賃審議委員立候補者には宣伝行動用のたすきが贈られました。09年からは任命期間が2年となります。運動を広げていきましょう。

お知らせ

中央最賃審議委員の候補者は

生協労連 北口明代

全国一般 青池香子さん の二人です。

地域最賃審議委員に積極的に立候補し最賃運動を強めていきましょう。

ポケットティッシュの申し込みはすみしましたか？

最賃シールもまだ在庫があります。活用してください。

「最賃くん」が2月の中央行動で全国デビューしました。かわいがっていきましょう。

2月25日 「第27回中央最低賃金審議会」が開催されました。

議題は、賃金改定状況調査の対象産業の変更や目安制度のあり方などです。

今回は目安制度のあり方が重要な論点です。目安制度の改定は5年ごとに行われています。次の改定は2010年、昨年からすでに論議が始まっており、今年の秋には方向性がまとまる予定です。

各地のとりくみ



かながわ

今年のコスチュームはきらきらがやく紫色の羽織。街行く人へのアピール度満点！安部栄子さんを最賃審議委員に任命すること、低すぎる最賃額的大幅引き上げ時給1,000円以上を求め、新横浜駅前で宣伝行動を行いました。パート部会のなかま14人がハンドマイクでの呼びかけをしました。

最後には、「手のひらに太陽を」のメロデーにのせ、最賃引き上げの替え歌を歌い最賃運動をアピールしました。



あいち

コープあいち労組の書記次長大井信人(まこと)さんは、配達担当者として仕事をしながら2月1日から最賃体験生活1ヶ月に挑戦中です。愛知の最賃額は731円、月給換算すると128,656円、社会保険料と税金を引くと108,427円が手元に残ります。動くとお金がかかるから休日は家でじっと我慢の子を決め込み、仕事中にトイレを拝借していたコンビニにもいけずの日々(トイレ拝借時の商品購入の流儀も断念)いつも食事のことで頭はいっぱい状態。愛労連は、最賃生活中の食事内容を調査することに。ミスター最賃クンの大井さんは食事日誌をつけて奮戦中です。

配送中は安全運転だけはくれぐれも集中してくださいネ。

関西地連の最賃活動状況

各単組のとりくみの予定を集約中！

地方最低賃金審議委員の立候補者の推薦を確認中です。県労連といっしょに運動強化をすすめていきます。

しがは大田仁さんが、わかやまからは中偕子さんが県評と調整中です。しがの運動の中心は、審議委員の公正任命の要請、審議委員会の傍聴や宣伝行動です。わかやまは署名のとりくみなどを行い県評に結集した運動を展開していきます。

京都総評では自分たちにあった運動を組み立てようと、5月から最賃体験生活実施を企画しています。

派遣切りなど雇用問題が深刻化する中、暮せる賃金としての最賃引き上げの運動は社会のセーフティネット確立の大事な運動です。

しずおか

そんなこと言ってる場合じゃないでしょ！

静岡から最賃審議委員に立候補する佐伯かをりさん、連合組織にパ臨連「春のつどい」への参加呼びかけに行き最賃運動での意見交換の懇談もお願いしました。が「組織が違う」「イデオロギーが違う」とばっさり切り捨て拒否されました。そこは「そんなこと言っている場合じゃないでしょう！この社会情勢の中で労働者としての意見をまとめることが大事でしょう…」と懇談を迫りました。すると後日懇談了承の連絡がきました。3月2日には、佐伯さんと大場さん(自治労連)の二人が「はじめの第一歩」としての懇談を行います。

静岡では審議委員5人を推薦予定。現在3人(生協労連佐伯さん、自治労連大場さん、建交労望月さん)の立候補を確定しています。